

浪速区西南地域まちづくりビジョンにおけるラウンドテーブル会議 議事要旨

- 1 開催日時
令和4年9月13日（火）午後2時～午後4時
- 2 開催場所
浪速区役所 601 会議室
- 3 出席者
学識有識者 阪南大学国際観光学部教授、立命館大学共通教育推進機構教授
地元関係者 浪速地域地域活動協議会会長ほか6名
浪速区役所 幡多区長、世古口副区長、松原市民協働課長、松村教育・学習支援担当課長、
横山市民協働課長代理、森川担当係長
- 4 議題
 - (1) 座長の選出について
 - (2) 「西南地域の現況」及び「ビジョンの進捗状況」について
 - (3) 未利用地を活用したまちづくりについて
- 5 議事要旨
 - (1) 座長の選出
メンバーの互選により松村教授を座長に選出
 - (2) 「西南地域の現況」及び「ビジョンの進捗状況」について
 - (3) 未利用地を活用したまちづくりについて
会議資料に沿って2案件をまとめて事務局（区役所）から説明し、意見交換を実施

◆意見交換要旨

（発言者：（学）…学識有識者、（地）…地元関係者、（区）…浪速区役所）

【住環境の整備】

- （地）・空地にはマンションが建つ。人が増えるのはいいが、マンションばかりではなく、地域には日常で使えるようなスーパーなどが無いので来て欲しい。
- （学）・共同住宅が増えるとスーパーなどの需要も高まる。何かインセンティブがあれば、そうした事業者も参入してくるかもしれない。
- （地）・今の流れではマンションになる可能性が高い。
 - ・地域にないものがニーズとして高くなる。買物弱者の対応、こどもの居場所、医療といったところだが、商業関係が来ていただいた方がよい。よりよく快適に暮らせる部分。
- （地）・特に不動産関係ではまだまだ地域に対する忌避意識があり、そういった意識が薄い外国籍の方々がすごく流入してくる。そうになると住民はやっぱり戸惑う。
- （地）・マナーが我々と違うので。
- （学）・地域南側の戸建住宅として開発されたところなどでは、海外にお住まいの方が所有権をもっている建物も結構あり、そうした住宅では民泊をされる。そうすると戸建てでも定着ではなく流動性が高まるという懸念がある。
- （地）・未利用地にマンションが建ったが町会加入はされない。地域清掃や防犯防災の活動、照度の問題など、町会長をはじめとして地域の皆さんが汗をかいて活動している。売るけどその後はほったらかしではどうかと思う。
- （学）・そういう意味では西南地域は大阪市内でも市営住宅が一番集積しているところで面積も多い。まちづくりに際して特別な理由にあたってくればいいのだが。
- （区）・住み継ぎたいまちをビジョンに掲げている。一過性の隠れ民泊とか住んでいない方がいるなどの状況は、都心部なので多少生じるのは仕方がないと思うが、行き過ぎというのはめざしている姿ではない。

- (地)・都市部に関してはデベロッパーに対して何か規制をかけるとか整備するとかをしないとダメ。民泊特区とかいってやりたい放題されている。
- (学)・そもそもビジョンは、このまちを故郷にして大事にできる人達をどうやってあたらしく迎え入れられるかというところで、住み継ぐだけでなく「住みたい、ここであれば安心」そういうまちになっていけばということでもとめたもの。現実を見つめながら、第1フェーズ第2フェーズと少なくともこれができる良かったというところを大事にしていけないと本当に孤立が進んでしまう。

【教育環境の提供】

- (地)・学習支援ルーム「コスモス」では市営住宅にお住いの外国籍の方が多く、5年前の30名ぐらいから、現在は100名を超えており、経済的にはかなり困窮している。
- (学)・戸建住宅にお住いの外国籍の方と「コスモス」との関わりはどうか。
- (地)・私学に行っている子どもたちが多く、小学校は公立でも中学校から私学に行く子もいる。
 - ・学力的にしんどい子が地域の中学校に来る。中央区（ミナミ）からの転居もあり。中央区でサポートしているところとも連携を取らないといけないなど、連携するところが広がり、サポートも多岐にわたってきている。
- (学)・日本語サポーターの有償ボランティアの現場での効果はどうか
- (地)・これぐらいでは足りない。

【賑わい交流学びの拠点】

- (区)・地域にスーパーがないのは事実としてあるが、地域にスーパーがなくてはならないという視点ではなく、周辺にライフやマックスバリュもあると思うので、地域の皆さんがお買い物をするのにどの程度困っているかということ。
- (地)・自転車で行ける人は少しの距離でも問題ないが、距離感はやはり違う。
- (地)・高齢化してきているので。
- (地)・不便な人はしんどい。地域内で配達の利用もあるが、やはり店舗のニーズが強い。
 - ・住民から、買い物するところがないという声があるということは、そこにニーズが強いと考えている。
- (地)・ライフやマックスバリュなどのスーパーは、大きな道路を渡っていかなければならないので、高齢者はうまく渡れない方もいる。
- (地)・なにわ買物センターの空き店舗募集も早く進めてほしい。
- (地)・駅から少し離れた木津川エリアでもコンビニやスーパーの要望がある。西側エリアが本当に弱い。
- (区)・木津川エリアの未利用地だが、市場性は戸建住宅と聞いているがどうか
- (地)・当時コストコなどの出店を期待したが、商業施設等では道も狭く、ポテンシャルの悪い場所。

【コミュニティの醸成】

- (学)・外国籍の方も町会には入っているのか。
- (地)・市営住宅に入居している方は入ってもらえるが、戸建住宅では啓発しても加入してもらえない。
- (地)・自治会参加は戸建てと市営住宅で隔たりがあり、ここ10年ぐらいの課題。
 - ・市営住宅から出て戸建てに移ったら、もう町会は無関係という認識の方もおられる。
- (地)・一方で、市営住宅でも空き家が多いところもある。
- (地)・現在市営住宅に空き住戸が400戸ほどあるはず。空き住戸に世帯が入ってもらったら活気が出てくる。そういうことも大事ではないか。
 - ・空き家が多いと、町会活動も手が足りず、高齢者ばかりでは成り立っていかない。
 - ・活気を作るならば足元から。特に西南地域は市営住宅から活気があるようにしないと。入居したいという方もすぐいる。あまりにも空き住戸が多すぎる。
- (地)・建替の場合も住んでいる戸数でしか建替しないため、高齢者ばかりの住宅になる。

- (地)・建替えて小規模、高層化しているので、その空いたスペースをどのように活用するかという問題が出てくるのが現状。
- (学)・市営住宅の戦略として縮小傾向にある。民間市場に任せていくという。
- (地)・平成5年以前の建物はお風呂が付いていないので別途費用も必要になるので避けられる。それでも浪速区は利便性が高いので人気がある方。
 - ・利便性が高いので外国籍の人がどんどん入ってきて、地域コミュニティがどうなる、といった問題が出てくる。
- (地)・外国人の居住者が増えているが、行政への手続きなどのサポートが必要な家庭が多い。コミュニケーションで翻訳機を使ったりもするが、人と人をつなぐためにも通訳が必要と感じる。
- (学)・戸建住宅にお住いの中国籍の方の場合、青年期を中国でお過ごし後に日本に来られた方が多い。日本の町会にあたるもので「居民委員会」というのがあるが、嫌っている方が多く、町会に抵抗感をお持ちの方もいる。
- (地)・町会のことで手伝ってくれる方もいるが、そうでない方と極端。コミュニケーションが大事で言葉がしゃべれるかしゃべれないかになる。通訳できる人が身近にいてもらいたい、町会の中で探すというのは難しい。
- (学)・わかってくれる方は一定数いるが、コミュニケーションをとるチャンスがないと平行線のまま。これが大きな課題。

【最後にまとめ】

- (学)・未利用地の活用における地域要望は、生鮮食品の買えるようなスーパーなどの商業施設が建ってくれたらいいなということで確認できた。市場性ヒアリングでは、複数の未利用地で商業が成り立つとの意見もあることから、売却で何かにぎわいの要素が出てくれば、順次、商業施設などの開発にも期待するところ。
 - ・マンションの民泊化などがまちの不安定化にどこまで影響するのか、コロナ禍で見えないところもある。様々な課題が本当に見えてきたときにもう一度集まって共有したい。
- (区)・未利用地の活用については、課題を整理し皆さんと力を合わせて取り組んでいく。
 - ・市営住宅の件は区CMとしてできることを改めて考える。
 - ・本日はいろいろなご意見ありがとうございました。